

遺産分割調停条項（案）

- 1 (1) 当事者全員は、被相続人〇〇（昭和22年7月7日死亡）の相続人が、調停外亡〇〇（昭和47年9月3日死亡）、相手方〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、排除前相手方〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇及び同〇〇であること、排除前相手方〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇及び同〇〇は、自己の相続分を放棄して本手続から排除されたことを確認する。
- (2) 当事者全員は、上記の調停外亡〇〇の相続人が、調停外亡〇〇（平成14年3月17日死亡）、相手方〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇及び同〇〇であることを確認する。
- (3) 当事者全員は、上記の調停外亡〇〇の相続人が、申立人、同〇〇、排除前相手方〇〇及び同〇〇であること、排除前相手方〇〇及び同〇〇は、自己の相続分を放棄して本手続から排除されたことを確認する。
- (4) 上記の結果本件遺産分割の当事者は、申立人、相手方〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇及び同〇〇であることを確認する。
- 2 当事者全員は、別紙遺産目録記載の財産が被相続人〇〇の遺産であることを確認する。
- 3 当事者全員は、別紙遺産目録記載の財産を次のとおり分割する。
 - (1) 昭和22年7月7日付け調停外亡〇〇は、目録記載の遺産をすべて相続し、昭和47年9月3日付け調停外亡〇〇は、目録記載の遺産をすべて相続し、平成14年3月17日付け申立人は、目録記載の遺産をすべて単独取得する。
 - (2) 相手方〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇、同〇〇及び同〇〇は、遺産を取得しない。
- 4 当事者全員は、以上をもって被相続人〇〇の遺産に関する紛争をすべて解決したものとし、本調停条項に定めるほか、本件に関し何らの債権債務の存在しないことをそれぞれ確認する。
- 5 調停費用は、各自の負担とする。